

第12回教育セミナーAdvanced Course

「臨床心臓発生・遺伝学を勉強しよう」

開催日：2021年2月6日(土)～7日(日) *web開催となります*

当番世話人：慶應義塾大学医学部小児科 山岸敬幸

今回は、心臓発生学と先天性心疾患・症候群の遺伝学をメインテーマに、先天性心疾患の患者さんの臨床に生かすための学問を取り上げました。心臓の発生は時間的、空間的に秩序だった多くの過程の芸術的なオーケストレーションによって成立しています。私たちが日常診療で遭遇する先天性心疾患の多くは、心臓の特定の領域または段階の発生異常によって発症するものであるため、複雑な心臓大血管の発生をいくつかの領域または段階別に分けて詳細に解析する「臨床心臓発生学」は、先天性心疾患の成り立ちを理解するための科学として重要です。疾患の成り立ちを深く理解することにより診療に深みが増し、新たな治療法や予防法についてのヒントも生まれます。また近年、医療における遺伝情報の取り扱いに関して、主に個人情報管理の観点と遺伝学的検査法の飛躍的な進歩から、高度な専門性が要求されるようになりました。小児循環器領域の遺伝性疾患に対しては、遺伝学の高度な専門知識を有する臨床遺伝学と、実際に管理する小児循環器医(主治医)の両者の知識と技能を統合して、包括的な診療を実践することが求められます。先天性ないし遺伝性疾患の正確な診断とそれに基づく情報提供を軸に、主治医が関連診療科と連携しながら疾患に対する深い理解と受容を促し、最善の治療・療育・社会的支援を提供する必要があります。その役割は出生前カウンセリングから、成人期への移行期医療を含み、生涯にわたる包括的医療となります。そこで、小児循環器医が主治医になることが多い症候群・遺伝性疾患を中心に、最新の臨床遺伝学の知識と、生涯にわたる包括的な管理・治療に必要な知識について、それぞれ詳しい第一線の臨床遺伝医と小児循環器医に、同時に解説していただき、勉強する機会を得ることを考えました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、本セミナーはオンラインで開催いたします。多数のご参加を心よりお待ちしております。

第12回教育セミナーAdvanced Course

当番世話人 山岸敬幸 慶應義塾大学医学部小児科

主催：日本小児循環器学会学術委員会・教育委員会

本会は、公益財団法人宮田心臓病研究振興基金令和2年度協賛金の支援を受けて開催されます。